



# 倉田小だより 3月号



横浜市立倉田小学校

～つながり いきいき 倉田っ子～



## 微笑みがえし

～1年間の感謝を込めて～

校長 末松 隆一郎

草木萌え動き、次第に和らぐ陽光の下、寒さの中で蓄えてきた生命の息吹が街のそこかしこで感じられる頃となりました。季節は確実に、芽生えと躍動の時を迎えようとしています。

本年度(令和5年度)も、最後の月を迎えます。学校では卒業式の練習もまもなく始まり、1年の総仕上げ、そして、次年度に向けての準備に一層の拍車がかかりはじめています。

この季節、テレビやラジオなどで「卒業ソング」をよく見聞きします。「仰げば尊し」「贈る言葉」などは最近あまり聞かなくなりましたが、それぞれの時代、それぞれの方に、きっと耳にするだけで「あの頃」に戻れる忘れられない卒業ソングが、きっとあることと思います。私が一番心に残っている卒業ソングは、中学校の卒業式で歌った歌・・・ではなく、その頃流行っていた歌で、キャンディーズの「微笑みがえし」という歌です。当時トップアイドルだったキャンディーズの解散ソングであり、ミリオンセラーになった歌ですが、別れに際し、その感謝の気持ちを「微笑み」にして届け、自分たちで決めた道を歩いていくという歌詞と、高校受験、卒業、進学という人生の岐路に初めて立ち、迷い苦しんだ当時の自分がシンクロし、今でも強く心に残っている私の「卒業ソング」です。そして、忘れられないもう一つの理由は、「微笑みがえし」という言葉が放つ清々しくも寂しく、そしてあたたかく優しい響きではないかと思えます。

「微笑み」 この言葉は、禅語の「拈華微笑(ねんげみしょう)」に由来する言葉で、

お釈迦様がたくさんの弟子たちの前で、一言も語らずに一輪の花を差し出した時に、弟子たちはその意味を理解できず、黙ったまま何の言葉も出せなかった。その中で唯一、魔訶迦葉(まかかしょう)という弟子だけがニッコリと笑った。お釈迦様は、何も語らずともその教えを理解した魔訶迦葉に真理を授け、跡継ぎに指名した。

という、何も言わなくても真意が伝わることの大切さ、以心伝心で法を体得する妙を示すという故事に由来するものです。

「微笑み」というものは、単に軽く笑う、会釈するというだけでなく、互いに心を通わせ合った時、心が寄り添った時に相手に伝わる、心と心のしぐさであり、言葉を越えたコミュニケーション、そして感謝の気持ちではないかとも思えます。そして、自分自身に対しても、楽しい時嬉しい時はもとより、苦しい時や悲しい時も、とりあえずニッコリと微笑むことによって、そこから新しいエネルギーが湧き出てくるかもしれません。

本年度、本校の教育活動に対しましては、保護者の皆様並びに地域・関係者の皆様には常にあたたかく見守っていただき、ご理解・ご協力をいただきましたこと、教職員一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。心からの感謝の気持ちで「微笑みがえし」させていただきます。次年度も、更に教育活動が充実していきますよう鋭意努力を重ね、微笑みいっぱい、笑顔いっぱい、みんながいきいきとつながり合う倉田小学校にしていきたいと思えます。よろしくお祈りします。